

# 令和4年度 東久留米市「学力定着度調査」結果について 正答率分布《市及び全国全体》

1 調査日時  
令和5年2月3日(金)

2 調査対象  
小学校第2・4・6学年、中学校第2学年  
( ) は全国、     は全国平均を上回った分野  
「2観点」…「知識・技能」と「思考・判断・表現」

3 調査内容  
教科に関する調査〔国語、算数・数学〕

棒グラフ(左): 東久留米市 棒グラフ(右): 全国  
縦軸: 評定出現率(%)  
横軸: 評定 A十分満足できる Bおおむね満足できる C努力を要する

## ◆教科の観点別集計 平均得点率(%)

教科	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	2観点平均
国語(小2)		81.0(82.8)	66.6(67.2)	80.7(81.2)	73.8(75.0)
国語(小4)		68.0(73.1)	61.6(66.8)	78.0(80.3)	64.8(70.0)
国語(小6)		69.1(72.6)	67.1(70.1)	74.7(78.9)	68.1(71.4)
国語(中2)		64.2(64.2)	64.8(65.1)	73.3(76.1)	64.5(64.7)

教科	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	2観点平均
算数(小2)		78.0(80.8)	58.5(65.2)	80.6(82.1)	68.2(73.0)
算数(小4)		63.4(69.8)	46.7(55.3)	79.1(80.7)	55.1(62.6)
算数(小6)		68.2(75.5)	61.1(66.8)	75.2(79.3)	64.6(71.1)
数学(中2)		68.5(70.9)	58.0(58.0)	71.8(76.8)	63.2(64.5)

## ◆領域別調査結果の平均得点率(%)

教科	領域	I 話すこと・聞くこと	II 書くこと	III 読むこと
国語(小2)		77.7(78.7)	69.5(71.8)	72.2(72.3)
国語(小4)		72.0(72.8)	53.5(62.9)	65.2(70.8)
国語(小6)		71.7(73.6)	64.2(69.7)	68.2(69.8)
国語(中2)		64.2(62.8)	68.3(70.5)	61.5(60.9)

教科	領域	I 数と計算	II 図形	III 変化と関係	IV データの活用
算数(小2)		73.2(77.7)	59.5(66.9)	—	73.3(75.6)
算数(小4)		62.6(68.0)	56.3(67.9)	37.9(42.6)	54.2(59.3)
算数(小6)		64.9(72.4)	65.3(70.5)	64.6(71.4)	62.2(69.1)
教科	領域	I 数と式	II 図形	III 関数	
数学(中2)		62.0(63.8)	68.7(70.5)	61.7(62.1)	

## ◆観点別出現率(%)



# 国語

## ◆2観点の領域別集計

I 話すこと・聞くこと II 書くこと III 読むこと

### 小2 国語

領域	大 中	内 容	得点率	全 国 得点率	全国比	全国との比較		
						←低い	全国=100	高い→
I	1	伝わるように話す・話し合う	68.7	71.4	96			
I	2	大事なことを聞き取る	84.8	84.7	100			
I	3	ていねいな言葉で話す	78.5	79.0	99			
II	4	事柄や順序を考え書く・推敲する	60.0	62.8	96			
II	5	文や文章を正しく書く	53.5	54.8	98			
II	6	漢字の書き・片仮名の書き	88.2	90.7	97			
III	7	内容の大体を捉える・感想の共有	72.5	74.3	98			
III	8	重要な語や人物の行動を捉える	63.8	61.9	103			
III	9	漢字の読み、主語述語の理解	85.3	87.8	97			

### 小4 国語

領域	大 中	内 容	得点率	全 国 得点率	全国比	全国との比較		
						←低い	全国=100	高い→
I	1	構成を考え話す・話し合う	63.5	64.5	98			
I	2	工夫して話す・内容を捉えて聞く	72.7	72.8	100			
I	3	接続詞の理解、慣用句の理解	81.4	82.6	99			
II	4	構成を考え書く・推敲する	52.7	63.8	83			
II	5	目的に応じて工夫して書く	54.9	60.3	91			
II	6	漢字の書き	54.4	63.3	86			
III	7	主題を読み取る・考え感想の共有	72.3	73.4	99			
III	8	詳細を読み取って解釈する	61.1	68.0	90			
III	9	漢字の読み、短歌・俳句など	63.8	71.4	89			

### 小6 国語

領域	大 中	内 容	得点率	全 国 得点率	全国比	全国との比較		
						←低い	全国=100	高い→
I	1	構成を考え話す・話し合う	70.9	73.0	97			
I	2	話を聞き内容を捉える	82.9	82.4	101			
I	3	敬語	59.1	63.5	93			
II	4	構成を考え書く・推敲する	58.9	66.0	89			
II	5	目的に応じて工夫して書く	68.7	73.2	94			
II	6	漢字の書き・熟語の構成	64.7	69.9	93			
III	7	主題を読み取る・感想の共有	62.1	62.5	99			
III	8	詳細を読み取って解釈する	58.3	62.3	94			
III	9	漢字の読み・助詞や助動詞の理解	84.9	84.6	100			

### 中2 国語

領域	大 中	内 容	得点率	全 国 得点率	全国比	全国との比較		
						←低い	全国=100	高い→
I	1	構成を考え話す・話し合う	69.3	69.0	100			
I	2	話を聞き内容を捉える	68.7	67.0	103			
I	3	情報の扱い方	54.5	52.3	104			
II	4	構成を考え書く・推敲する	70.8	73.3	97			
II	5	目的に応じて工夫して書く	49.2	54.4	90			
II	6	漢字の書き・同訓異字等	77.9	78.2	100			
III	7	主題や構成を読み取る	61.5	60.5	102			
III	8	要点をとらえ内容を解釈する	70.3	67.7	104			
III	9	漢字の読み・古典・単語の活用等	57.2	57.7	99			

## ◆主体的に学習に取り組む態度 質問内容別集計

### 小2 国語

項 目	学年 得点	全国 得点	全国 指数	全国との比較		
				←低い	全国=100	高い→
1	7.4	7.4	99			
2	6.7	6.8	97			
3	7.5	7.5	99			
4	7.6	7.5	102			

### 小4 国語

項 目	学年 得点	全国 得点	全国 指数	全国との比較		
				←低い	全国=100	高い→
1	9.5	9.8	95			
2	8.3	8.7	93			
3	9.8	10.0	95			
4	9.8	10.0	96			

### 小6 国語

項 目	学年 得点	全国 得点	全国 指数	全国との比較		
				←低い	全国=100	高い→
1	9.1	9.5	93			
2	7.9	8.7	87			
3	9.2	9.7	90			
4	9.6	9.9	93			

### 中2 国語

項 目	学年 得点	全国 得点	全国 指数	全国との比較		
				←低い	全国=100	高い→
1	8.9	9.4	92			
2	7.9	8.5	89			
3	9.1	9.3	97			
4	9.2	9.3	99			

## 小学校【国語】の結果について

2観点の領域別集計では、低学年の得点率が高く、学年が上ると低くなる傾向が見られる。

領域別に見ると、「I 話すこと・聞くこと」の領域は、どの学年もほぼ全国と同等であり、他の領域より平均得点率が高かった。また、「II 書くこと」の領域が最も平均得点率が低く、低学年の段階から課題となっている。

2年生では、中領域で見ると、大事なことを落とさず聞くことや漢字の読み・書きの得点率が高い。「4 事柄や順序を考えて書く・推敲する」「5 文や文章を正しく書く」は、全国と同等ではあるものの得点率が低い。4年生・6年生では、「聞くこと」の得点率が高い一方で、漢字を正しく書くことや目的に応じて文章を書くことに課題が見られ、さらに「4 構成を考えて書く・推敲する」の得点率が最も低かった。これらのことから、どの学年においても、基礎的・基本的な言語事項を確実に習得させ、日常的に伝えたいことを自分の言葉で表現する言語活動を充実させることが必要である。そのために、ICT機器の活用による授業改善や教科横断型の視点を取り入れたカリキュラムの見直しなどの一層の推進が求められる。

「主体的に学習に取り組む態度」では、どの学年も「2 教科学習を自己調整しようとする態度」の得点が最も低い。中でも「授業後に振り返る」という設問に対し、否定的な回答が目立つとともに、否定的な回答をした児童は、各領域の得点率が低かった。授業後の振り返りにより、自分は何ができて（分かって）何ができていないか（分からなかったか）を児童自身が整理し、児童自身が改善策を考え、次時へ向かうようにすることにより、主体的に学ぶ姿勢をつくる必要がある。

## 中学校【国語】の結果について

2観点の領域別集計では、おおよそ全国と同等であり、全国を上回った項目もある。得点率が低かった項目は「5 目的に応じて工夫して書く」であり、小学校と共通している。とくに、資料を活用して意見文を書く問題や、指定の分量で考えを書く問題の得点率が低かった。

「主体的に学習に取り組む態度」では、「2 教科学習を自己調整しようとする態度」が低く、「目標を立てて取り組む」「授業後に振り返る」の2つの設問に対して、否定的な回答が多かった。日常の授業では、「目標」と「振り返り」を確実に行うとともに、日常場面を含む活用的課題解決問題を取り入れるなど、生徒が主体的に学習に取り組むような授業改善が必要である。

# 算数・数学

## ◆ 2観点の領域別集計

I数と式 II図形 III変化と関係  
IV測定・データの活用

### 小2 算数

領域 大 中	内 容	得点率	全 国 得点率	全国比	全国との比較		
					←低い	全国=100	高い→
I 1	数の構成と表し方	85.1	81.7	104			
I 2	たし算とひき算	65.9	76.2	86			
I 3	かけ算	70.1	76.0	92			
II 4	三角形や四角形	59.5	66.9	89			
III 5	長さ、かさ	67.9	72.4	94			
III 6	時間の単位	76.8	76.3	101			
III 7	表やグラフ	81.2	82.0	99			

### 小4 算数

領域 大 中	内 容	得点率	全 国 得点率	全国比	全国との比較		
					←低い	全国=100	高い→
I 1	整数の表し方	76.8	79.0	97			
I 2	がい数と四捨五入	33.6	51.3	65			
I 3	わり算	66.9	71.7	93			
I 4	小数のしくみとその計算	76.2	77.8	98			
I 5	かっこを用いた式、四則の性質	55.3	59.4	93			
II 6	平行・垂直と四角形、面積	56.9	69.9	81			
II 7	角の大きさ	54.8	62.8	87			
III 8	割合	37.9	42.6	89			
IV 9	表と折れ線グラフ	54.2	59.3	91			

### 小6 算数

領域 大 中	内 容	得点率	全 国 得点率	全国比	全国との比較		
					←低い	全国=100	高い→
I 1	分数	58.7	69.6	84			
I 2	文字を用いた式	77.3	78.0	99			
II 3	縮図や拡大図、対称な図形	74.1	76.3	97			
II 4	およその面積、円の面積	57.7	65.8	88			
II 5	角柱や円柱の体積	57.9	65.3	89			
III 6	比例	61.4	69.8	88			
III 7	比	68.4	73.2	93			
IV 8	代表値、度数分布表と柱状グラフ	74.3	67.8	110			
IV 9	起こり得る場合	52.6	70.2	75			

### 中2 数学 I数と式 II図形 III関数

領域 大 中	内 容	得点率	全 国 得点率	全国比	全国との比較		
					←低い	全国=100	高い→
I 1	式の計算	66.1	68.5	96			
I 2	連立方程式	56.5	57.5	98			
II 3	平行線や多角形の角の性質	76.6	79.0	97			
II 4	三角形の合同、証明	62.8	64.1	98			
III 5	1次関数	61.7	62.1	99			

## ◆ 主体的に学習に取り組む態度 質問内容別集計

### 小2 算数

項 目	学年 得点	全 国 得点	全国 指数	全国との比較		
				←低い	全国=100	高い→
1 教科学習を粘り強く進める態度	7.4	7.5	97			
2 教科学習を自己調整しようとする態度	6.7	6.9	97			
3 教科学習への興味関心	7.3	7.5	96			
4 教科に関する自信	7.6	7.7	98			

### 小4 算数

項 目	学年 得点	全 国 得点	全国 指数	全国との比較		
				←低い	全国=100	高い→
1 教科学習を粘り強く進める態度	9.7	9.8	98			
2 教科学習を自己調整しようとする態度	8.6	9.1	92			
3 教科学習への興味関心	9.7	9.8	98			
4 教科に関する自信	10.0	10.0	99			

### 小6 算数

項 目	学年 得点	全 国 得点	全国 指数	全国との比較		
				←低い	全国=100	高い→
1 教科学習を粘り強く進める態度	9.2	9.6	92			
2 教科学習を自己調整しようとする態度	8.1	9.0	86			
3 教科学習への興味関心	9.1	9.5	93			
4 教科に関する自信	9.7	9.9	95			

### 中2 数学

項 目	学年 得点	全 国 得点	全国 指数	全国との比較		
				←低い	全国=100	高い→
1 教科学習を粘り強く進める態度	8.8	9.4	90			
2 教科学習を自己調整しようとする態度	8.1	8.8	88			
3 教科学習への興味関心	8.7	9.4	90			
4 教科に関する自信	8.9	9.3	93			

## 小学校【算数】の結果について

2観点の領域別集計では、どの学年においても全国に近いものの、やや下回る項目が多かった。

2年生では、「2たし算とひき算」の得点率が低く、2位数や3位数の筆算を正しく計算することに加え、筆算の一部を完成させる問題の得点率が低かった。また、「4三角形や四角形」の得点率が低く、三角形や四角形の弁別や図形を回したり組み合わせたりして考えることに課題が見られた。4年生では、平行四辺形の性質や作図、複雑な図形の面積の求め方を説明する問題に課題が見られるとともに、四捨五入の範囲を求める問題や一方を基にしてもう一方を倍で表す問題において得点率が低かった。6年生では、分数の除法の計算の仕方を説明する問題、分数倍で表す問題、円の面積や柱体の体積を求める問題、組み合わせの調べ方を説明する問題の得点率が低かった。どの学年においても、計算の理由や仕組みを説明する問題や順序よく論理的に考える問題に課題が見られることから、日常の授業において、単に答えを求めるだけでなく、計算の根拠や考え方について、多面的に捉え、説明し合うなどの学習が必要である。

「主体的に学習に取り組む態度」は、学年が上がるにつれて全国指数がやや下がっている。国語と同様に「2教科学習を自己調整しようとする態度」がとくに低い傾向が見られ、「1教科学習を粘り強く進める態度」のうち「主体的に取り組む」についても肯定的回答が少なかった。このことから、日常の学習において、「振り返り」を工夫し、少人数指導やICT機器の活用を通して、習熟に応じて課題を進めることができるようにすることが重要である。

## 中学校【数学】の結果について

2観点の領域別集計では、全ての項目において全国と同等である。最も得点が低かった項目は「2連立方程式」であり、問題の場面に合った連立方程式のxが何を表しているかを問う問題であった。また、ある一定の決まりに沿って計算をする問題を話し合っている場面を読み、当てはまる文字式や連立方程式の解を答える問題の正答率が低かった。中学校でも小学校同様に、単に答えを求めるだけでなく、問題の事象や計算について、多面的に捉え、説明し合うなどの学習が必要である。

「主体的に学習に取り組む態度」では、「2教科学習を自己調整しようとする態度」に加え、「主体的に取り組む」将来、学んだことが活用できる」の設問についても肯定的な回答が少なかった。